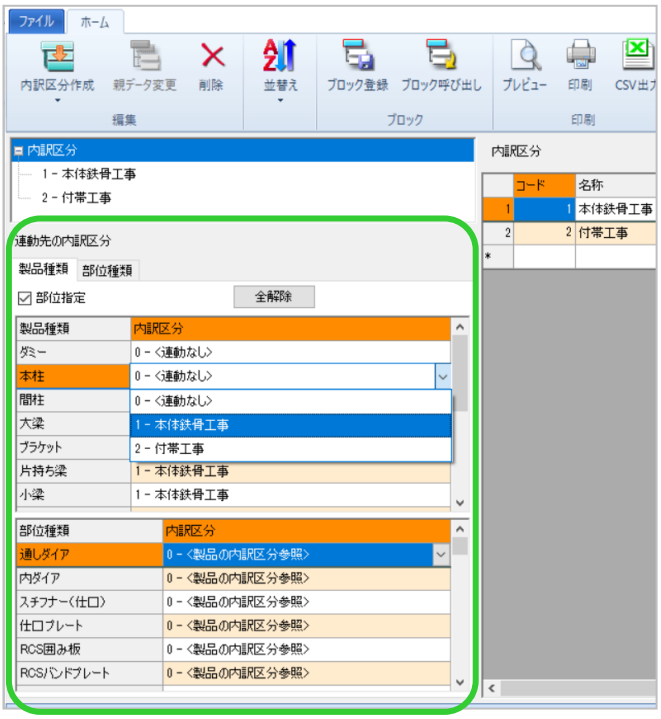
②REAL4のデータを見積積算4へ連動したい！（自動連動）

製品種類毎に連動先を自動で割り当て可能になります。

REAL4 にて連動処理が必要です。

REAL4 での設定方法は【①REAL4 のデータを見積積算４へ連動したい！（データ連動）】をご参照ください。

見積積算４を起動し【工事管理】より工事を選択した後、【内訳区分マスター】にて内訳区分を作成します。



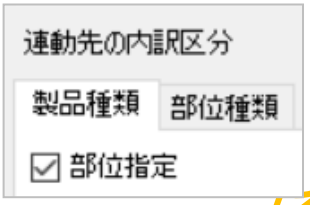
連動先の内訳区分では 製品毎、もしくは各部位毎に連動先を選択することが可能です。

製品種類タブにて設定を行うと、製品毎に連動先の内訳区分設定が可能になります。更に部位指定をすることによって、製品に溶接されるものでも詳細に内訳区分を設定する事が可能です。

部位種類タブにて設定を行うと、製品として纏めず、**単品毎で内訳設定を行うことが可能です。**

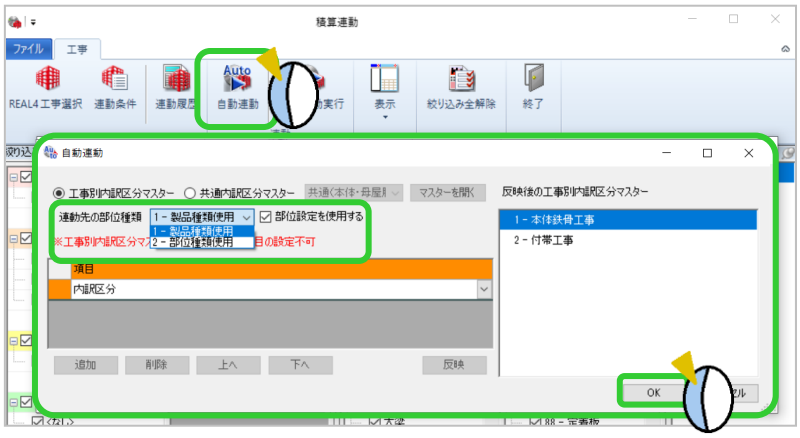
製品種類と部位種類は各々設定できます。

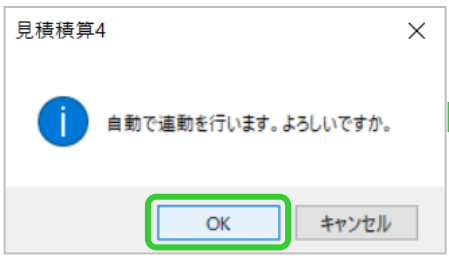
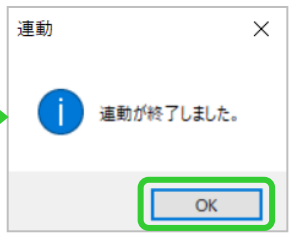
連動時にどちらか選択します。



【拾い出し入力】 - 【連動】をクリックすると積算連動画面が開きます。

【自動連動】をクリックすると自動連動画面が表示されます。



自動連動画面にて、事前に設定していた内訳の**製品種類**か**部位種類**を使用するのか、もしくは**製品種類を使用し、部位設定も使用するのか**を選択した後【OK】にて確定します。

自動連動するかの確認画面が表示されますので、【OK】をクリックし、連動を終了します。